

ほげい船

第96号

2025年
2月

基本
理念

私達は心のこもった
医療を行い、地域に
信頼される病院となる
ことを目指します。

独立行政法人

国立病院機構高知病院

A Whaling Ship



ホスピタルアート（重心病棟廊下の壁）

【目次】



- | | | | |
|---|---|----------------------|----|
| ●「成長と再生」の巳年 ― 食を考える ― …… | 2 | ●QC活動（優秀賞）を受賞しました …… | 8 |
| ●新任職員紹介 …… | 3 | ●療育指導室だよりクリスマス会 …… | 9 |
| ●職員の異動 …… | 3 | ●病院機能評価受審を終えて …… | 10 |
| ●ICTだより 感染制御認定臨床微生物検査技師（ICMT）を取得しました …… | 3 | ●看護学校だより …… | 14 |
| ●診療科紹介／耳鼻咽喉科 …… | 4 | ●地域医療連携室だより …… | 15 |
| ●一般社団法人 日本家族計画協会 会長表彰 受賞 …… | 5 | ●地域連携等概況 …… | 15 |
| ●ベスト口演賞を受賞して …… | 6 | ●外来診療担当表 …… | 16 |
| ●ベストポスター賞を受賞して …… | 7 | | |



院長
先山 正二

「成長と再生」の巳年

— 食を考える —

令和7年、本年も皆さまのご多幸とご健康をお祈り申し上げます。今年は巳年。蛇が脱皮を繰り返し成長する姿にちなみ、「再生と成長」の象徴とされています。この機会に、私たち自身も新たな挑戦を続け、次なる一步を踏みだし、さらに信頼される医療を目指してまいりたいと考えております。

医療界において、蛇は特別な意味を持つシンボルです。ギリシャ神話の名医アスクレピオスの「蛇の巻きついた杖」は、医療の象徴として広く知られています。世界保健機関（WHO）や日本医師会のロゴにもその象徴が使われており、医療と蛇の深い関係がうかがえます。当院も一昨年、紹介受診重点医療機関となりました。この役割を果たしながら、地域の皆さまに信頼される医療機関として“脱皮と成長”を続けてまいります。

一方で、年末年始の現場は厳しい状況が続いています。今年もコロナウイルスの流行に加え、インフルエンザの急増が医療機関への負担を増しています。高知県における感染症の報告数を見ると、2月末までは一層の緊張感が求められる状況が続くと予想されます。皆さまにも引き続き感染対策を心がけていただければ幸いです。

また、近年の食材費やエネルギーコストの高騰は、医療現場、とりわけ病院給食にも影響を及ぼしています。病院給食は治療の一環であるため、その質を保つことは欠かせません。令和6年度の診療報酬改定では、入院時食事療養費が30年ぶりに見直され、一般食1食当たり30円引き上げられ670円（栄養管理費180円+食材費・調理費490円）となりました。さらに、令和6年12月には、中間年の診療報酬改定として、1食当たり20円の追加引き上げが

議論され、了承されました。これにより690円となる見通しです。当院では、健康と治療を支える質の高い食事を提供するため、スタッフ一同で工夫を重ね、引き続き高い水準の病院給食を目指してまいります。

私たちの生活に欠かせない「食」を考えると、我が国の食糧自給率の低さは見逃せない課題です。我が国の食糧自給率は令和5年度で38%と低迷を続けています。昭和40年度の73%から大幅に減少し、G7諸国と比べても大きく下回る状況です。これからの時代、気候変動や世界情勢の影響を受ける中で、食糧の安全保障はますます重要になっていくでしょう。当院でも、災害時の備蓄を含め、「食」をより重要なテーマとして取り組んでまいります。

最後に、本年も皆さまの声に耳を傾け、地域の病院としてお役に立てるよう努力を続けてまいります。どうぞ引き続きのご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



新任職員紹介

令和7年1月から国立高知病院放射線科に採用になりました中路 康介（なかじ こうすけ）と申します。出身は京都で京都府立医科大学卒業後、関西にて長らく過ごしていましたが、令和2年4月に高知大学医学部放射線診断・IVR学講座教授の山上先生との縁があり、高知へ移動してきました。京都府立医大時代にはCT、MRIの一般的な読影業務の他に4D-flow MRIを用いた健常若年者の心臓における血流パターンやエネルギー損失、また先天性心疾患等の術前後の血流や血行動態の研究や解析を行ってまいりました。高知大学ではMRIの責任者としてMRIプロトコルやシーケンスの調整、日常診療での画像のクオリティコント

ロールや読影業務に従事しておりました。これらの経験を活かし、国立高知病院での診療に貢献できれば幸いです。現在日本では放射線科診断専門医が非常に不足しており、国立高知病院の規模の病院であっても例にもれず、常勤が一人という状況です。検査数が多く、CT、MRIの全検査を読影することは困難ですが、可能な範囲で丁寧な読影を心がけようと考えておりますので、よろしくお願いたします。



放射線科医師

中路 康介

11月2日付～2月1日付の人事異動（常勤）

退 職	
▶ R6.11.30	
看護師	三浦 真菜瀬
▶ R6.12.31	
看護師	檜垣 千尋
臨床検査技師	野田 涼太

看護師	阿蘇 由紀
看護師	矢野 美風
▶ R7.1.31	
看護師	今城 桃
助産師	中内 美佑

職員の異動

採 用	
▶ R7.1.1	
放射線科医師	中路 康介

感染制御認定臨床微生物検査技師 (ICMT) を取得しました

感染制御認定臨床微生物検査技師 (ICMT) とは、感染症や感染制御、院内感染対策の専門知識を持つ感染制御医師 (ICD)、感染管理認定看護師 (CNIC)、薬剤師と協調して感染制御に取り組む臨床検査技師であることを証明する認定資格です。

資格を取るきっかけは、細菌検査室での検査業務のほかに感染制御チーム (ICT)、抗菌薬適正使用支援チーム (AST) の活動に取り組んでいますが、知識の向上、自己研鑽のため、また都道府県別にみた人口10万人対病院病

ICT便り



ICT 臨床検査技師

岩村 佐智子

床数は2,318.1床で高知県が最も多い¹⁾ですが、CNICは全国で一番少なく²⁾、ICMTも同じく臨床微生物学会HPで公表されている2024年1月1日時点の登録者は8名³⁾という現状があるためです。

取得により院内のチーム力の強化や、連携している施設との相談対応等により一層活かせるものと考えています。

今後も引き続き、チーム活動に貢献していきたいと思っております。

参考資料

- 厚生労働省:令和4(2022)年医療施設(動態)調査・病院報告の概況 <https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/iryosd/22/dl/02sisetu04.pdf> (2025年1月15日閲覧)
- 公益社団法人 日本看護協会:分野別都道府県別登録者数(日本地図版) https://www.nurse.or.jp/nursing/qualification/vision/cn/bunyatodofuken_tizu_ch.html (2025年1月15日閲覧)
- 一般社団法人 日本臨床微生物学会 ICMT登録者名簿 https://www.jscm.org/icmt_new/meibo.pdf



耳鼻咽喉科医長
福田 潤弥

診療科紹介

耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科は、耳と鼻の疾患を取り扱うだけでなく、頸部より上で頭蓋内、眼窩、頸椎を除く幅広い領域の疾患の治療に当たっており、耳鼻咽喉科・頭頸部外科とも呼ばれています。聴覚、嗅覚、味覚、平衡覚などの感覚器、また呼吸、嚥下、発声など生命維持や生活の質向上に不可欠な器官を扱っています。対象年齢も新生児、小児、成人、高齢者と全ての年代にわたっています。耳鼻咽喉科では平日午前中に2診体制で外来を行っています。

我々は、最先端治療を取り入れつつ、耳鼻咽喉科のどの分野においても標準的な治療を提供しています。また本院は地域における二次総合病院であるため、近隣の開業医の先生方と連携を深め、精査が必要な患者様、入院加療が必要な患者様、手術が必要な患者様をご紹介いただき、積極的に加療しております。

直近では、令和6年10月より、めまいの診断に有用な新しい検査機器「ビデオヘッドインパルス検査 (vHIT)」を導入

しました。専用ゴーグルを患者さんの頭に着用し、指標を見つめてもらい、医師が頭を左右に急速に動かしたときの眼球の動きを計測・解析するものです。これにより、左右の三半規管の機能の評価が従来より短時間で簡便にできます。以前は、前庭神経炎などを診断するのに、耳の中に水を入れて行う温度眼振検査が主流で、これはめまいを誘発し、嘔気などの侵襲を伴い、また暗室が必要であり、検査時間のかかる検査でした。

vHITを導入することで、外来診察時に検査ができ、時間的にも侵襲的にも患者さんの負担の少ない検査が可能となりました。めまいの発症の早期にも、半規管機能検査ができることにより、めまいの原因の早期診断に役立ちます。また、原因が不明のめまい症状に対して、半規管機能低下があるかどうかを判断する手助けになると考えており、日々の診療に役立てていこうと思っています。



一般社団法人 日本家族計画協会 会長表彰 受賞



産科医長
滝川 稚也



令和6年11月21・22日鹿児島県鹿児島市で開催されました令和6年度 健やか親子21全国大会(母子保健家族計画全国大会)におきまして、一般社

団法人 日本家族計画協会 会長表彰を受賞しましたので報告させていただきます。

まず、健やか親子21全国大会とは？

「健やか親子21全国大会」は、育成医療等基本方針に掲げる課題についての講演やシンポジウムなどの開催により、「健やか親子21」の推進を図るとともに、事業推進に功績のあった個人、団体などの表彰を行うもので、毎年各都道府県持ち回りで開催されています。昭和41年に前身の母子保健家族計画全国大会が開催されて以降、今年で58回目となる歴史ある大会です。私自身が誕生した年から開始された事業で受賞できることはより大きな感動がありました。

家族計画協会会長表彰は、長年にわたり母子保健・家族計画の普及指導に尽力した個人や団体に贈られる名誉ある賞と聞いております。

家族計画協会会長表彰の対象者は

- 母子保健、家族計画、思春期保健分野における顕著な貢献者
- 地域社会における母子保健、家族計画の推進に尽力した個人・団体

とされています。

NHO 高知病院赴任以前より性教育を実施しており、当院でも思春期外来を開設し現在はユースクリニックとして、思春期男女の性の困難な問題の駆け込み口として稼働しております。

また、高知県では、中学校、高校への性教育の出前講座

を継続しております。県立塩見記念青少年プラザにあります思春期相談室 PRINK (プリnk) の思春期相談員をしています。高知県思春期相談センター PRINK (プリnk) は、高知県における思春期の子どもたちの心と体の健康をサポートするための相談窓口です。ここでは、性や

体のこと、人間関係の悩みなど、思春期特有の様々な問題について、専門家(助産師など)に相談することができます。PRINK (プリnk) は、思春期の子どもたちが安心して相談できる場所として、地域社会に貢献しています。

令和6年10月5日一般社団法人 日本家族計画協会が主催する指導者のための避妊と性感染症予防セミナーを高知で初開催しました。2年後の第49回日本産婦人科医会 性教育指導セミナー in 高知 の開催を予定しております。

同僚の先生方、病院のご理解がありこのような性教育の活動を継続できる環境を提供していただいた結果と考えております。今後も地域の拠点病院として地元の方々との接点の一つとして頑張っております。



第78回 国立病院総合医学会が

● ベスト口演賞を受賞して



臨床研究部長
竹内 栄治

第78回国立病院総合医学会が、2024年10月18～19日に大阪国際会議場で開催され、ベスト口演賞をいただきました。学会と名の付く賞をいただいたのは、恥ずかしながら初めてだったので素直に嬉しかったです。

国立病院総合医学会では様々な特別講演やシンポジウムなどが行われ、同じ国立病院



機構の病院同士でもあり、課題も似ており参考になる講演が多かったです。私は呼吸器疾患3のセッションで、「好酸球は非小細胞肺癌患者に対する免疫チェックポイント阻害薬の効果予測バイオマーカー」であることを発表しました。これまで、

好酸球は喘息・アレルギー・寄生虫感染のみに関与する細胞と考えられてきましたが、近年腫瘍免疫にも関与している重要な細胞であることが報告されつつあります。肺癌に対する免疫療法と好酸球の関係は、現在



私が最も興味あるところで、発表の要旨はすでにThoracic cancerに掲載されていますので(Thorac Cancer. 14(30): 3042-3050, 2023.)、興味のある方はご覧ください。

最後になりますが、共同研究者の呼吸器内科の皆さん、臨床検査科長の成瀬先生、徳島大学呼吸器・膠原病内科の皆さん、研究に関わってくれたすべての方々に感謝いたします。ありがとうございました。



作業療法士
吉村 大輔

この度は、令和6年10月に大阪で開催されました、第78回国立病院総合医学会に参加させて頂きました。

全国各地から施設、職種の垣根を超え数多くの参加者で賑わい、国立病院機構という組織規模の大きさを改めて実感いたしました。私自身、本学会では肩関節疾患におけるADLの調査研究について報告させていただき、恐縮ながら座長表彰に選出頂きま

した。大変緊張感のある中、聴講者の方々とディスカッションを通じて、様々な意見を頂き、私自身大変多くの学びがありました。つきましては日頃より臨床、研究ともにご指導頂いております福田昇司副院長、整形外科川真田純先生をはじめ、リハビリテーション科スタッフ、整形外科病棟スタッフ、関連部署の皆様にご挨拶申し上げます。当科、作業療法部門では福田副院長、川真田先生主導の下、肩関節疾患を主体とした臨床研究を継続しており、今後も研鑽を重ね、来年度以降も継続的な学会活動に取り組んでいきたいと思っております。



保育士
山本 香織

クリスマス会

重症心身障害病棟では、12月9日（月）から12月24日（火）にかけてクリスマス会を実施しました。

各病棟居室毎に、エプロンシアターやアドベントカレンダーならぬアドベントハウスを楽しみました。

エプロンシアターは、ビニールひもで作った編みぐるみを使用した“大きなカブ”クリスマスバージョンのお話です。サンタクロース、ねずみ、トナカイ、ネコ、ウサギ、雪だるまが登場し、みんなで力を合わせてカブを引き抜きます。なかなか抜けないカブに「がんばれ!!」「あともう



少し!!」などと声をかけて応援し、利用者さんと一緒に引っ張って出てきたカブは、なんと!サンタさんのプレゼント袋でした。みんなで声を掛け合ってやっと引き抜けた時の嬉しそうな表情が印象的でした。

アドベントハウスでは、たくさんある扉を開けると中には様々な種類のクリスマスツリーのオーナメントが入っており、初めは緑が多く見られ寂しいツリーでしたが、段々と華やかになっていく様子にみんなわくわくしながら飾り付けて



いきました。

また、クリスマスプレゼントやケーキなどのお楽しみがたくさんありました。院長、看護部長など職員が扮したサンタさんが、大きな真っ白の袋をさげて登場し、利用者さん全員がクリスマスプレゼントをもらいました。もらったプレゼントをジッと見つめ大事に抱える方や、早く中を確認したいのかすぐに開封される方、サンタさんから手渡され照れ笑いを浮かべる方など嬉しそうな様子が見られました。



ケーキは、おやつ時間にスポンジ、ムースといったクリスマスケーキをそれぞれ楽しめました。1個では不足しお代わりをされたり、食べることが難しい方にも味わってもらえるようにとイチゴやチョコ、ホワイトクリームが準備され甘くとろけるクリームを堪能されていました。

年に1度の行事を思い思いに楽しめたクリスマスでした。

病院機能 評価受審を終えて



統括診療部長
岩原 義人

総括

当院は、2024年8月23日付けで「病院機能評価」の認定を受けました。

病院機能評価とは、国民が適切で質の高い医療を安心して受けられるため、評価調査者（病院管理業務経験等を有している者）が医療機関を中立的・科学的・専門的な見地から評価するもので、第三者機関である公益財団法人日本医療機能評価機構が審査・評価を行っています。

実際の審査ですが、病院の現況と自己評価調査票を事前に提出、書類審査を受けました。そして2024年4月18日及び19日に評価調査者による訪問審査を受け、書類の確認や合同面談が行われました。面談の中では、チーム医療の質が明らかになる「ケアプロセス」について有意義な討議ができたことが印象深かったです。また、各部署を実際にラウンドしていただき、患者目線で各部署が安全に運営されているかチェックを受けることもできました。

概ね良い評価を受けたという印象でしたが、その後の審議の結果、所定の認定基準を満たしている病院として認定をいただくことができました。

結果に慢心することなく、これからも地域医療を担う病院として地域から求められる良質で安全な医療を安定かつ継続的に提供し、信頼される病院であるために、職員一同取り組んでまいります。



小児科医長
(臨床倫理コンサルテーションチームリーダー)
前田 明彦

1. 臨床倫理分野

医療倫理は、病院運営において、医療の質、医療安全、感染制御などと並んで大切なもので、病院機能評価でも評価の対象となっています。倫理とは「人が行うべき正しい道」と辞書には説明されています。

臨床倫理の課題を解決するのは容易でないことが多いですが、解決に向かうための仕組みと努力のもと、正しい手続きで行われることが必要です。先行して設置された研究を対象とする臨床研究審査委員会とは独立して、臨床的課題を話し合う場として、臨床倫理委員会とその下部組織である臨床倫理コンサルテーションチームが2023年に設置されました。これらはいずれも多職種のメンバーから構成されています。

臨床倫理的な問題とは、

1) 患者の生命にかかわること、2) 新たな治療・診療方法に関すること、3) 臨床の場面で（これでいいのだろうか）もややもやする問題、など重大なものから軽微なものまで多様です。当院では1) 2) の重大な問題は臨床倫理委員会で、3) の比較的軽微と考えられる問題は臨床倫理コンサルテーションチームや各部署で看護職が主体となって毎週開催される倫理カンファレンスで話し合われています。



感染管理室
河村 ひとみ

2. 感染制御、洗浄・滅菌機能

私は、院内の感染制御の体制づくりから実践状況の確認まで、組織横断的な活動を行っています。当院は病院機能評価を令和6年4月に受審し合格しましたが、受審までに、感染管理面で以前からの課題について、複数の部門と共働しながら改善に取り組むことができました。

当院の院内感染予防対策マニュアルは全部で47項目ほどありますが、その中で長期間改訂できていない項目が20項目程度ありました。ICT医師、薬剤師、臨床検査技師にも項目の改訂を担当してもらうことで、機能評価受審までに21項目改訂することができました。その他にも、洗濯室ではスペースの問題から、清潔・

不潔のゾーニングが不十分であることや、中央材料室の払い出しエリアのゾーニング、個人防護具やペーパータオルホルダーが設置できていない病室が複数あることなどの課題についても改善することができました。機能評価受審に向けて、多くの職種、職位の職員と協力して院内の感染管理上の改善に取り組むことができました。その中で、コミュニケーションの方法を学び、私自身の成長につながったと思います。組織横断的に院内の感染管理の役割を果たすために今後も研鑽をつんでいきたいと思ひます

3. チーム医療 3階南病棟

2024年4月18日から2日間病院機能評価を受審しました。ラウンドでは、患者さんの療養環境を含め、患者ケアの実際と共に、患者さんの安全確保や院内感染対策のルールなどが遵守されているかなどについて、審査を受けました。次に、ケアプロセスについても、実際に提供されている診療やケアを診療録や看護記録を各種マニュアルなどと照らし合わせて確認がありました。審査の中で、診療やケアについては、診療録を用いて入院から退院までのプロセスを確認し、多職種と共にサービヤヤーからの質問に答え、患者さんのために常にチームで、専門性の高い医療を提供していることについてPRしました。

今回の病院機能評価受審により、医療安全や感染対策への取り組みを継続させていくことの必要性やチーム医療の大切さを改めて学ぶことができました。審査に合格したことを励みにして、結果を活用することで、患者さんから信頼される病院を目指し、病院全体で医療の質改善に努めたいと思ひます。



看護師長
天野 智佐

3. チーム医療 4階北病棟

私は病院機能評価受審当日に向け、師長、病棟スタッフとともにチャンピオンカルテの作成に取り組んでいました。4階北病棟では当初、婦人科と泌尿器科の患者さんの症例を準備していたのですが、受審の直前に小児科の患者さんの症例を準備するよう変更があり、大変慌てたことを思ひだします。急な変更によく協力してくださった小児科の医師の皆さんやコメディカルの方々の助けもあり、病棟総出で対応し、何とか間に合わせることができました。また、普段より多職種でのチーム医療が円滑に行われていたことも無事に受審できた要因ではなかったかと考えます。

今回の受審を受け、さらにチーム医療の必要性や重要性に気付くこともできました。また、病棟全体のまとまりも強まったように感じています。

これからも評価を維持、向上させていけるように病棟全員で取り組んでいきたいと思ひます。



副看護師長
上田 奈穂

3. チーム医療 5階南病棟

当院は、令和6年4月に病院機能評価を受審しました。私が勤務する整形外科病棟では、年間470件を超える手術があり、特に大腿骨頸部骨折に対して行われる人工股関節置換術や変形性肩関節症に対して行われるリバー型人工肩関節置換術が多く行われています。高齢患者さんも多く、術前から周術期、リハビリテーション期と運動機能回復への支援やADL支援を行っています。ケアプロセスの準備では、手術室など他部門との関わりや医師、看護補助者、薬剤師、栄養士、理学療法士、地域医療連携室など他職種と連携した症例を挙げ、一つひとつの過程を振り返りました。説明文書や同意書はどのような言葉掛けをしながら患者さんに手渡されたのか、車椅子から歩行器歩行にステップアップをする時のアセスメント、患者さんやご家族の反応など、個々の看護師と看護実践で印象深かったことを丁寧に話し合い、看護記録として適切に記載されているか確認しました。

ケアを振り返ることで十分ではないと感じることや、反対に、私たちが提供している看護が患者さんにとって必要なケアであったことを認識する機会となりました。病院機能評価受審を機に、今後も日常的に看護ケアを振り返り、患者さんにとってより良い看護に繋げていくことに努めていきます。



看護師長
篠原 理佐



看護師長
豊岡 康弘

3. チーム医療 5階北病棟

看護師長経験2年目となり、今回初めて病院機能評価の受審を経験することになりました。始めは何から取り組んでいったらいいのか不安がありましたが、受審経験のある副看護師長がリーダーシップを発揮してくれ、病棟でどのような準備をするのか話し合いを持ちながら受審に臨むことができました。一番大変だったのはケアプロセスの作成で、様々な書類の不備がないか確認してスタッフと一緒に補完していきました。完成した時には、「できたー!」とみんなで喜んだことを覚えています。また、環境面では感染管理認定看護師、医療安全管理係長と何回もラウンドを行い改善を行いました。結果、サーベイヤーからは「整理整頓できてますね」と言葉をいただくことができました。

今回、このような貴重な経験ができスタッフと共に目的に向かって取り組んだ達成感はなかなか味わえないものだと感じました。この経験を活かしさらに質の高い安全で安心な看護が提供できるようスタッフ一丸となってがんばっていきます。



薬剤部長
成岡 功

4. 薬剤管理機能

薬剤部が主体となり準備を進めたのは ●院内における医薬品の安全使用対策 ●薬剤部内の医薬品管理です。院内の医薬品安全使用対策としては、抗がん剤のレジメン管理やハイリスク薬の管理、病棟配置薬の管理等が挙げられます。多忙を極める日常業務の中でこれらの医薬品が適切・適正・安全に使用されるよう現状把握および手順の見直しを行いました。

薬剤部内に関しては、調剤や注射業務、持参薬鑑別、無菌調製、医薬品情報の収集・配信、後発医薬品の在庫確保等々が無駄なく最少時間で機能するよう改善しました。しかしながら前回の機能評価受審時の課題であった病棟への関わりが不十分なままでした。

今後は現行システムの機能追加や調剤機器の導入を進めて業務の更なる合理化を図りマンパワー不足を補いながら、患者さんが質の高い医療を享受できるように、地域に信頼されるように努めてまいります。



臨床検査技師長
香川 昭博

5. 臨床検査、病理診断、輸血・血液管理機能

血液や尿などを分析する検体検査や組織・細胞診断を行う病理検査では、検査項目ごとに決まった作業手順を整備し、誰が作業しても同様の結果が得られ、異常値が発見された場合に、それが真の結果か偽の結果かを見極める手順、また、偽の検査結果を得た場合に遡ってその要因を追跡できること、直ちに治療が必要な検査結果が生じた場合、確実に主治医へ結果が伝わるように連絡体制などがしっかりと確立されていることが求められます。加えて検査結果の精度が高い必要があり、当検査室では検査の正確性（品質）を担保するために外部機関による品質保証施設認証を取得しています。輸血検査では輸血過誤を防止するための手順や輸血時の副作用の確認手順、副作用が生じた場合の対処手順などが確立され、輸血後の追跡調査ができるように血液製剤の製剤番号の管理、輸血時の患者検体の適正保管など関連学会の指針に基づく手順に沿って、安全に輸血を実施する体制が整っていることが大切です。

今回の審査では全て「評価A」でしたが、審査を目的とするのではなく、継続して求められる事項が常に実行されていることが大切です。今後も継続した適正な検査室運営を心がけていきます。



診療放射線科技師長
難波 宗平

6. 画像診断・放射線治療機能

放射線科は放射線診断部門、放射線治療部門ともに2024年4月19日に訪問審査を受審しました。審査項目は技師の人数から夜間、休日の対応、日常の検査体制、放射線治療部門では緊急時の照射の対応、機器の点検まで幅広いものでありましたが、特に医療安全に対して重きを置いた内容の印象を受けました。患者確認方法にはじまり、救急カートのチェック、造影検査時のアナフィラキシーショックへの対応マニュアルの確認などを行いました。

指摘として、急変時の対応を救急外来への連絡としていましたが、さらに素早い対応ができたほうが望まし

いとのことでした。これに対しては2025年1月より常勤の放射線科診断医師が赴任され、医師が放射線科に常駐することが可能となり、急変時対応を向上することができました。

また、受審時は常勤医師が不在であったにも関わらず、非常勤読影医師の体制・夜間休日の遠隔読影の体制を高く評価されました。さらに読影レポートの依頼医既読確認のチェックの体制も、レポート未読の防止に努めていると評価され、画像診断機能としては評価Aをいただきました。

今後は、常勤の放射線科診断医師が赴任されたことで、さらに医療安全・医療の質を向上し地域に信頼される病院の一端を担う放射線科を目指していきます。

7. 栄養管理機能

病院機能評価は、各専門領域の知識と経験を有するサーベイヤーがチームで病院を訪問され、審査を受ける為、受審前よりこれで良いのか？大丈夫か？と問答する日々でした。個人的には、過去2度経験はしていたものの、最新のバージョンとなり不安もありました。栄養管理部門は、チーム医療による『栄養管理と食事支援が適切に行われている』、良質な医療を構成する機能『栄養管理機能が適切に発揮している』が評価項目であり、栄養管理室スタッフ一同協力のもと、今一度、日々の業務と向き合い、準備にあたり当日を迎え、審査を受け問題なく、評価をして頂きました。

今後も栄養管理室の部門目標でもある、栄養管理業務の充実と業務実績の向上に努めて参りたいと思います。審査にあたり、準備など時間を費やしてくれたスタッフにこの場を借りてお礼を言いたいです。



栄養管理室長
奥 悟

8. リハビリテーション機能

2024年4月18日、19日の2日間、当院は病院機能評価を受審しました。リハビリテーション科が受審に向けて行った取り組みは、大きく分けて業務内容の適正化とマニュアル再編の2つになります。事前にリハビリテーション科スタッフ内で業務内容の調査を行い、話し合いをしました。そこで出た問題点について、他部署の協力を得ながら業務内容を適正化していきました。また、リハビリテーション科にある業務マニュアルと診療マニュアルを見直し、現状に合った内容に変更しました。病院機能評価を受審することで、リハビリテーション科内の業務内容の見直しが行われ、他部署との連携が深めることができました。



理学療法士長
渡利 太

9. 療養環境整備

環境整備に関する一番の課題は、清潔物品払い出しエリアが診療材料物品管理室と隣接し、清潔区域としての管理が不明確で、不潔物品や入室時の運用が定まっていないことにありました。

当該エリアについて、看護部と企画課、滅菌業務委託業者とSPD委託業者でミーティングを重ね、清潔物品の払い出しエリアと診療材料物品管理室を入れ替え、環境整備と運用体制を新たに構築することとしました。

現在進行形で運用している部屋の移動のため懸念はありましたが、清潔物品の払い出しエリアは従来より広々と、清潔感が保たれた空間となり、診療材料物品管理室も材料・定数配置を工夫することで、限られたスペースでの運用が可能となり、スタッフや物品の動線もスムーズになりました。

他にも病棟リネン室の整備をはじめ、婦人科病棟病室へのプライバシー備品の設置のほか、院内各部署の掲示物や理念の整理を行いました。

病院機能評価は終わりましたが、引き続き、各WGと協同で環境整備に努めて参ります。



業務班長
田中 宏志



看護学生としての学びの集大成!

～看護を探究し、学びを未来に繋いでいく～

看護学校 教員 露口 絵美

3年生（第60期生）は、11月29日（金）に病棟の指導者さん、看護師長さんにも出席いただき、臨地実習振り返り会を行いました。これまで自分たちが実践してきた看護をテーマ毎にグループで振り返りながら、仲間とその学びを発表し共有しました。テーマ毎に自分達がまとめた考えを発表し合う中では、看護師として必要な力や看護に向き合う姿勢など、今やっていることに満足せず、より良い看護のあり方を深く探究することの大切さを実感できていました。最後にいただいた指導者さん達のエールを胸に、看護師国家試験に向けてラストスパートです。

テーマ毎のグループ発表で、自分の新たな看護の知を伝えます!!



～ テーマ ～

- 1G:看護技術
- 2G:コミュニケーション
- 3G:意思決定支援
- 4G:家族看護
- 5G:継続看護
- 6G:チーム医療

患者さんの思いを汲みとる姿勢とはどういうことか？



指導者の方々の心のこもった講評が励みになります。ご指導ありがとうございました!!

❀ 振り返り会後の学生の学び ❀

振り返り会を通して、私自身が経験したことのない看護を経験した仲間の話を聞く機会となり、自分だったらこうする、その考えは無かった等の新しい発見にもつながった。沢山の人の思いを知ることで自分の知識や考え方が広がり、患者に対して幅広い看護を提供することができると感じた。

「点ではなく線で捉える」という指導者さんからの助言もあったように、6つのテーマで経験を振り返ることで、自身の看護に深い意味があったことを理解した。臨床に出てからも、1つ1つの関わりを大切に、「この人で良かった」と思ってもらえる看護師に成長していきたい。

私は自分の考えを相手に伝えることに時間がかかってしまう。今後は、そういった自身の傾向をふまえて看護師として必要な知識や能力をさらに養っていきたい。その為にも、自己解決に留めず、自身の考えをもちながら周囲の人に協力も得て看護に取り組んでいきたい。



地域医療連携室
深木 智与

… クリスマス ミニ演奏会

12月9日から12月25日までの期間、「クリスマス ミニ演奏会」を開催しました。外来エントランスホールにおいて職員等によるピアノ演奏を行い、クリスマスソングや映画音楽、クラシックの名曲、バンドによるステージなど、みんなが楽しめる曲を披露しました。会場の外来エントランスには3メートルの大きなクリスマスツリーが飾られ、吹き抜けの天井に響くピアノの音は、心地良い音色でした。演奏者の職

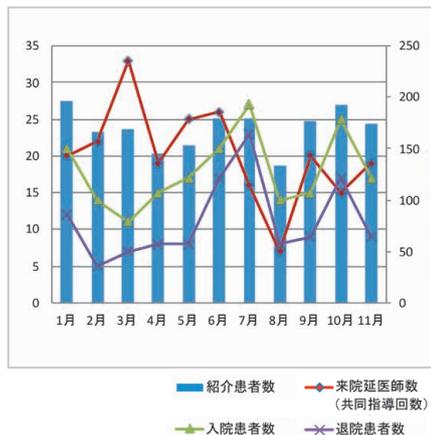
員は日頃からピアノを演奏している人、久しぶりにピアノの練習から始めてくれた人など、さまざまでしたが心あたたまる時間を共にすごすことができました。

病棟や外来患者さんが楽しみにされているクリスマスの恒例行事ですので、次年度はどのような企画にしようかと今から楽しみです。

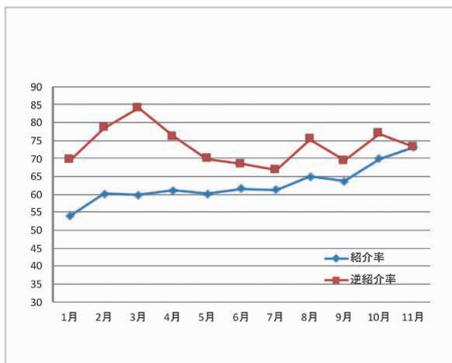


地域連携等概況

オープンシステム利用状況



紹介率・逆紹介率



救急搬送受診者数



外来診療担当表

■受付時間／8:15～11:00

■休診日／土曜・日曜・祝日
・12月29日～1月3日



独立行政法人
国立病院機構

高知病院

〒780-8077 高知県高知市朝倉西町1丁目2番25号
TEL (088) 844-3111 FAX (088) 843-6385
<https://kochi.hosp.go.jp/>



高知病院の
シンボルマーク

令和7年 1月 6日現在

診療科	区分・診察室番号		月	火	水	木	金	
内科	午前	1診	⑧・⑪		小松 直樹		篠原 勉(第1・第3週) 竹内 栄治(第2・第4週) ※第5週はありません	
		特別外来	⑩		岩原 義人(血液)	松森 昭憲(糖尿病)	岩原 義人(内科)	
	午後	専門外来	⑥			化学物質過敏症(予約制)		
神経内科			⑫	不定期(院内案内板に掲示しています。お電話にてお問い合わせ下さい。)				
呼吸器内科 アレルギー科	午前	1診	⑧	岡野 義夫	竹内 栄治	畠山 暢生	竹内 栄治	門田 直樹
		2診	⑥ ⑫		松村 有悟	新居 香織	町田 久典	
	午後	専門外来					禁煙外来 14:00～15:00(予約制)	
消化器内科	午前		⑨	林 広茂	池田 敬洋	高橋 早代		池田 敬洋
循環器内科	午前		⑦ ⑥	山崎 隆志	中岡 洋子(第1・3火曜)	伊藤 いづみ(第2・4水曜)	山崎 隆志	
	午後		⑦			伊藤 いづみ (第2・4水曜) 受付16:00まで	ペースメーカー (第2木曜)	古川 敦子
リウマチ科			⑩	松森 昭憲				松森 昭憲
小児科	午前	1診	①	大石 尚文		齊藤 晃士	小倉 英郎 (アレルギー・化学物質)	大石 尚文
		2診	②	佐藤 哲也	高橋 一平	佐藤 哲也	前田 明彦	高橋 芳夫
		3診	③	高橋 一平	大津 祐也	小倉 由紀子(アレルギー)	第3週 医大医師(神経)	前田 明彦
	午後	専門外来 (予約制)		大石 尚文	小倉 由紀子 (アレルギー)	佐藤 哲也 (乳健・他)	小倉 英郎 (アレルギー・化学物質)	大石 尚文 (乳健・他)
				小倉 由紀子 (アレルギー)	佐藤 哲也 (院外出生乳健・他)	高橋 一平 (乳健・未熟児)	高橋 芳夫 (未熟児)	前田 明彦 (乳健・他)
	予防接種		第1週 医大医師(神経) 第2・4週 医大医師(循環器) 14:00～16:00(予約制)	14:00～16:00(予約制)	14:00～16:00(予約制)	14:00～16:00(予約制)	14:00～16:00(予約制)	
外科 消化器外科 小児外科	午前		⑤・⑥	東島 潤	福山 充俊 (クーポンがん検診)	福山 充俊	中尾 寿宏 (クーポンがん検診)	金本 真美 (肝臓・胆道・膵臓外来)
	午後	専門外来	⑤		福山 充俊 (乳腺外来)			
呼吸器外科	午前		⑧ ⑦		先山 正二 日野 弘之		先山 正二 日野 弘之	先山 正二(予約制)
	午後		⑤			本田 純子 (クーポンがん検診)		本田 純子 受付15:30まで(クーポンがん検診)
乳腺科	午前		⑤	本田 純子 (クーポンがん検診)		本田 純子 (クーポンがん検診)		
	午後		⑤					
整形外科	午前		① ②	福田 昇司(予約制) 吉川 紘平		吉川 紘平	福田 昇司 溝渕 周平	川真田 純
	午後		⑧				田村 竜也(予約制)	
脳神経外科	午前	1診	⑧			非常勤 診察時間 9:00～11:00(予約制) 予約外の方はお問い合わせ下さい		
皮膚科 【全曜日予約制】	午前		⑬ ⑫			中島 英貴(第1・3・5週) 高知大学医師(第2・4週)	石元 達士(第1・3週) 高知大学医師(第2・4・5週)	
泌尿器科	午前	1診	⑨	大河内 寿夫	石黒 基純	大河内 寿夫		大河内 寿夫
	午後	2診	⑦					石黒 基純 診察開始 10:00～
産科	午前		⑳	滝川 稚也	滝川 稚也	山中 絵里加 1ヶ月検診	甲斐 由佳	木下 宏実
婦人科	午前		㉑	木下 宏実 (クーポンがん検診)	甲斐 由佳 (クーポンがん検診)	木下 宏実 (クーポンがん検診)	滝川 稚也 (クーポンがん検診)	山中 絵里加 (クーポンがん検診)
	午後							ユースクリニック(予約制)
眼科	午前		㉒	戸田 祐子	戸田 祐子(予約制)	戸田 祐子	戸田 祐子(予約制)	戸田 祐子
耳鼻咽喉科	午前		⑯	福田 潤弥 高岡 俊	福田 潤弥 高岡 俊	福田 潤弥 高岡 俊	福田 潤弥 高岡 俊	福田 潤弥 高岡 俊
放射線科				塩田 博文	塩田 博文	塩田 博文	塩田 博文	塩田 博文

※ 市町村発行のクーポン券を利用される乳がん検診は、平日 外科外来／乳腺科外来にて行っています。診察も希望される場合は事前に外来までお問い合わせください。
※ 当日の受付は午前11:00までとなっております。